

■ 戦略研85thミーティング議事録

日 時：2012年4月7日(土) 14:00-17:00

場 所：東京・竹橋 ちよだプラットフォームスクウェア

テーマ：「若手ビジネスパーソンのためのキャリア戦略

～20代、30代の転換点を戦略的にマネージする～

発表者：新田大介氏（戦略研代表）

茂木正光氏（戦略研副代表）

富沢成幸氏（戦略研運営委員）

参加者：参加者 22人（発表者除く）

（銀行員、財務コンサルタント、会社員、公務員、大学生、  
NPO 法人理事長、行政書士、司法書士等）

代表挨拶：代表より挨拶、戦略経営研究会及び講師、講演の趣旨の紹介

サマリー：

複数回の転職を行ってきた富沢氏、金融機関に就職し現職（プロパー）である新田氏、行政書士・司法書士を開業している茂木氏から「若手ビジネスパーソンのためのキャリア戦略」の発表が行われました。

富沢氏はビジネスパーソンの成功は3つのパターンしかないとしします。すなわち、①いまの会社（現職）で成功するか、②転職して成功するか、③独立開業して成功するかです。

富沢氏から「成功」、「キャリア」の用語説明が行われました。「成功」とは実は何らかの一貫性（法則）があるものとしします。「キャリア」とはやってきたこと、成し遂げたいことの2つの視点があるとしします。さらにキャリアだけでなく、プライベートでも幸せになることが肝心としします。

この後、富沢氏、新田氏、茂木氏の順に、転職、現職、独立開業の具体的事例の発表がありました。

①富沢氏からは転職において自身のポジション（指揮官か兵隊か）を明確にしておくこと、面接についての経験のお話しでした。

②新田氏からは大学時代、ビジネスパーソンの中でリベラルアーツを行ってきたこと、マ

マイクロファイナンスとの出会い、目的、お客様の設定と金融機関への就職。就職後の経験と挫折、そして、社内での人間関係。自身の成功の定義についてのお話しでした。

③茂木氏からは独立開業はキャリアの中で特別なものではないこと。目的設定が必要なこと、個人のブランドにてお客様を獲得すること、コミュニケーションと人的ネットワーク形成ができること、そしてセルフ・マネジメントができることは、独立開業だけでなく、現職でも転職でも必要となるというお話しでした。

なお、「戦略」の定義として、まず目的を設定しついで目的と現実のギャップを埋めること。また、設定した目的に基づいて取捨選択（トレードオフ）、優先順位付けを行うこととしました。

富沢氏から茂木氏の発表に対して「会社においても独立開業しているような感覚の人が成功する」とのコメントがありました。

3名のお話しの共通点は、「目的（ゴール）の設定」（欲しいものは何か）と「喜んでくださるお客様は誰か」（ビジネス上のお客様だけでなく、社内の上司や部下、家庭における配偶者、お子様。友人・知人、地域における隣人なども含みます）を明確にすることでした。

上記発表の他に、参加者のキャリアのために「明日から」使えるよう、下記のワークシートも実施しました（隣席の方とのディスカッションも実施）。

ワーク① フューチャー・ブル

ワーク② 将来を見通して欲しいもの、欲しい状態を書いてみる

ワーク③ 自分はどう見られるのか？ 何がしたいのか？

ワーク④ 5年前の自分への手紙を書いてみる。タイトルは「大丈夫！」

以上